

VDV II Plus

取扱説明書



このたびは、VDV II Plusをお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みになり 正しくお使いくだ
さい。

総販売元
株式会社

グッドマン

〒236-0037 神奈川県横浜市金沢区六浦東2-3-3

フリーダイヤル : 0120-26-5527

安全にご使用いただくために

本書に含まれる情報は全てIDEAL INDUSTRIES NETWORKS Ltd.の所有物です。
本書を提供するにあたり文書の誤りや不作為に関する責任は一切負えません。

本書の内容の一部または全部を無断で複製または使用することは、契約がある場合、
及びIDEAL INDUSTRIES NETWORKS Ltd.から許可された場合を除き禁止されています。

著作権および複製と使用に関するすべての制限は、この情報が掲載される可能性のあるすべてのメディアに適応されます。改訂のため、製品やサービスの仕様、設計、価格または供給条件を予告なく変更することがありますので予めご了承下さい。



危険

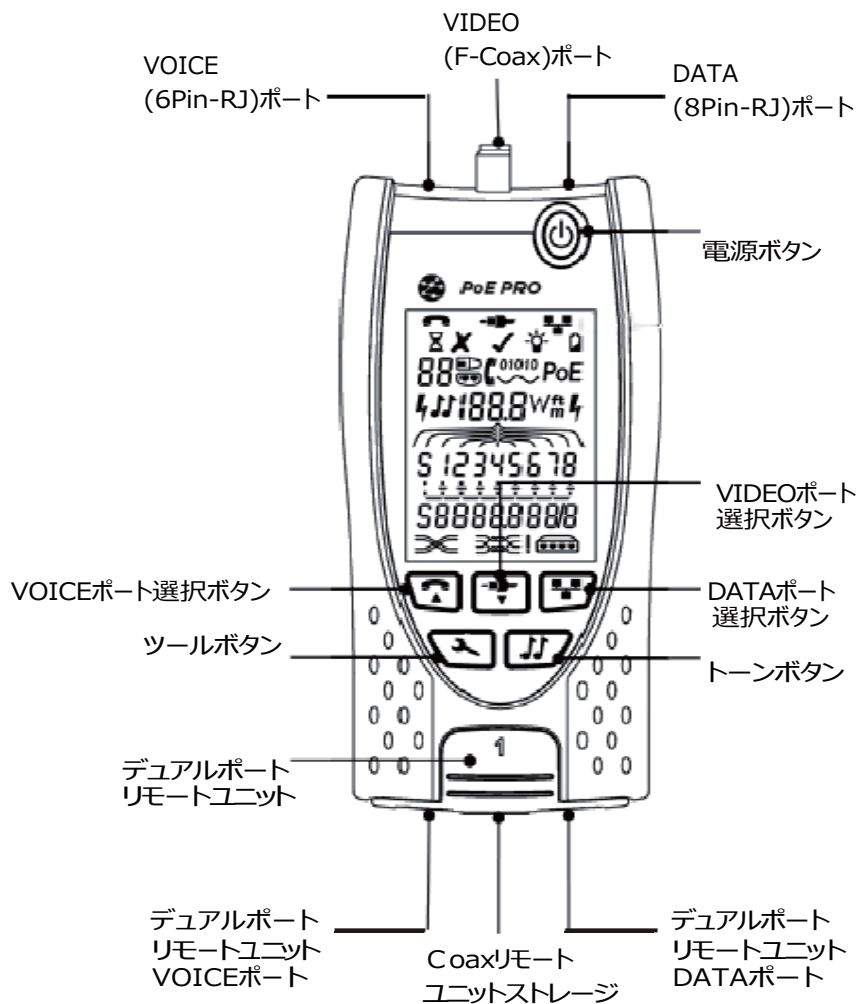
60ボルト以上のAC電源ケーブルや通信ケーブルには接続しないでください。
VDV II Plusテスターが損傷し、ユーザーに安全上の問題を引き起こす可能性があります。



注意

完全に圧着されていない損傷したプラグ、もしくは圧着されていないプラグはVDV II Plusテスターのポートを損傷させる恐れがあります。プラグが適切に終端されているか確認し、テスターに挿入する前に圧着します。
接続部は常にプラグのプラスチックの窪みに埋め込むように接続してください。
8-pin(DATA)ポート付き8芯プラグと6-pin(VOICE)ポート付きの6芯プラグのみを使用してください。

各部の説明



● バッテリーの装着/取外し

- ・テスター背面にあるバッテリーカバーを取り外します。
- ・コードを巻き込まないように注意して、バッテリーの取り外し
ます。
- ・バッテリーカバーを元の位置にネジで取り付けて完了で

バッテリーカバー

スクリュー

バッテリーカバー



● テスターの電源を入れる

- ・電源ボタンを押します。
- ・画面に選択されているポート (VOICE・
VIDEO・DATA) が表示されます。
- ・バッテリー不足の表示が現れた場合は新しい9V
バッテリーと交換してください。

VOICE ポート VIDEO ポート DATAポート



設定マーク

バックライトマーク

電池 残量
低下マーク

● バックライトの調節

- ・バックライトサインが点滅し【バックライトのタイムアウト(秒)】が表示されるまで、
TOOLSボタンを繰り返し押します。
- ・▼または▲を押してバックライトの時間指定を設定します。
- ・数値が0の場合、画面に×と表示されます。バックライトは適応されません。
- ・数値が0以外の場合、画面に✓と表示されます。どのボタンが押されてもバック
ライトは適応されます。タイムアウト後、画面は一時暗くなりその後自動消灯しま
す。
- ・設定マークが消えるまで、ツールボタンを繰り返し押します。

● テスターの電源を切る

- ・電源ボタンを押します。

終端部品



デュアルポート
リモートユニット
#1<スタンダード>



coaxリモートユニット
#1<スタンダード>
#1-12
〈オプション158053〉



R J 45リモートユニット
#1-12
〈オプション158050〉



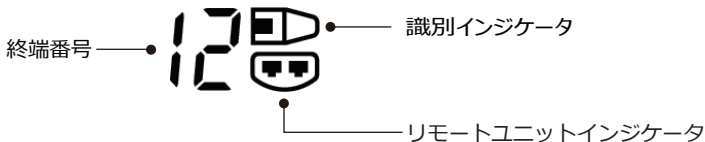
R J 45識別子
#1-24
〈オプション158051〉

デュアルポートリモートユニットはテスターの下端に収納できます。

ジャックは、保護するために内側、またはパッチケーブルをテスターから取り外さず
テストするため外側に収納することができ、同軸リモートユニットは内部に格納するこ
とができます。

接続

- ケーブルに接続し、正しく接続されているか確認する
- ケーブルコネクタのタイプ (RJ11、RJ12、RJ14、または RJ25 ケーブル、F75Ω 同軸の場合はビデオ、RJ45 の場合はデータ) に合わせて適切なポート (VOICE、VIDEO、DATA) を使用してください。
- 対応するポートボタン (VOICE、VIDEO、DATA) を押します。
(ディスプレイに選択したポートが表示されます。)
- ケーブルの一方の末端を選択したポートに接続し、もう一方の末端をケーブル識別用のリモートユニットに接続し、ケーブル識別及び検査、もしくは識別子をつないでケーブル識別のみを行います。
(様々な終端が使用されている際、識別をサポートするため画面に終端の型 (リモートユニットまたは識別子) と番号が表示されます。)



ケーブルテスト

- ケーブルをテストする手順
- 上記に従ってケーブルをテスターと適切なリモートユニットに接続します。
(ケーブルテストは継続的に実行されます (TOOLS モードが適応されている、もしくは電圧が検出された場合を除く)。ケーブルテストを開始・停止する必要はありません)

ケーブルテストの結果は画面下半分に二行の数値で表示されます。

上の行の数値は近端のピンを示しています。

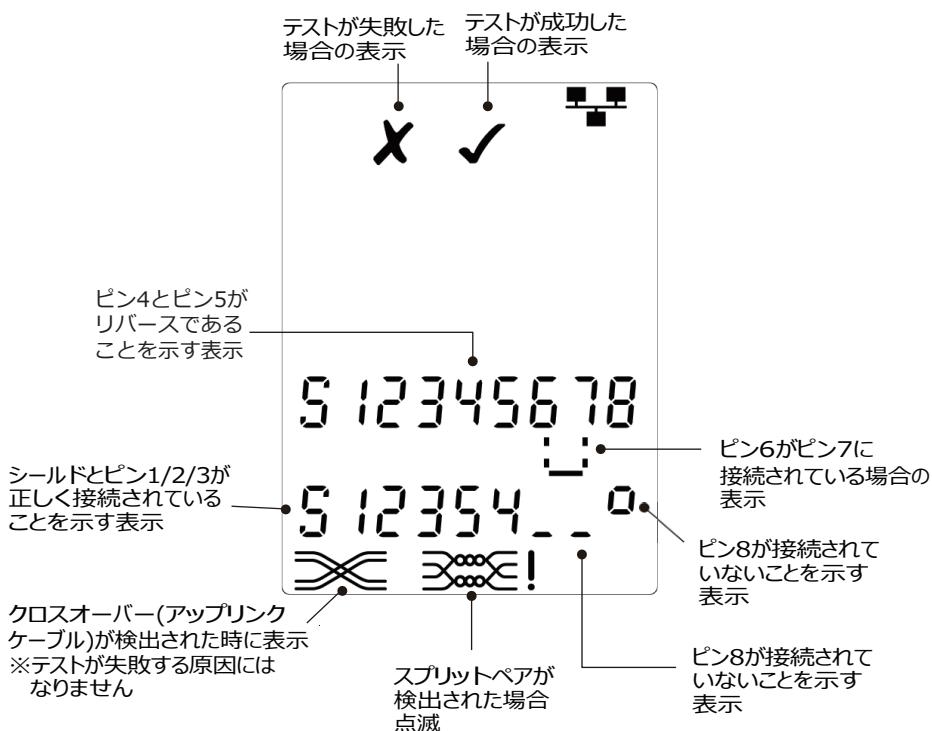
表示される数値と S (シールド) は、以下のように使用中のポートによって異なります。

VOICE - ピン 1, 2, 3, 4, 5, 6 が表示されます

VIDEO - S とピン 1 が表示されます

DATA - ピン 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8 a が表示されます。(シールドが接続されている場合、S が表示されます。)

下の行の数値は遠端のピンを示しています。表示される数値は遠端のどのピンが近端のどのピンに接続されているかを示しています。画面には開回路と短絡回路、また複数の短絡が順番に表示されます。



●スプリットペアテスト

スプリットペアを示すアイコンの横にテストが無効になっていることが表示されます。

- ・スプリットペアテストが有効の場合、スプリットペアによりテストが失敗する原因となります。
- ・スプリットペアテストが無効の場合、スプリットペアによってテストが失敗することはありません。

●スプリットペアテストを有効/無効にする

現在選択されているポートの【ポート選択ボタン】を2秒間押し続けると設定が変更され、スプリットペアテストの有効・無効が切り替わります。

長さの測定

ケーブルの長さは、オープン、または遠端にリモートユニットまたは識別子を使用して測定できます。

長さは、メートル単位で表示できます。

長さの測定単位を設定するには

- ・mの記号が点滅するまで、TOOLSボタンを繰り返し押します。
- ・▲もしくは▼を押します
- ・設定インジケータが消えるまで、TOOLSボタンを繰り返し押します。

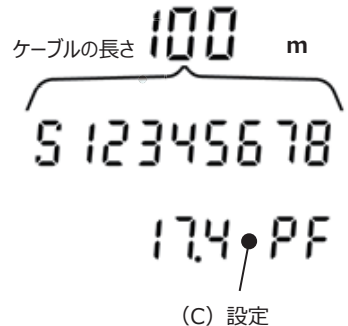
長さ測定の精度は、テスト対象ケーブル長さ単位（C）あたりの静電容量を、正確に設定しているかどうかに影響されます。これは、ケーブルメーカーのデータ、もしくはテストするケーブルと同じタイプの既知の長さのケーブルをテストすることにより設定できます。

（C）値を設定するには：

- ・既知の長さ（> 15m）のケーブルをテスターに接続します（可能な場合）。
- ・（C）設定が点滅するまで、TOOLSボタンを繰り返し押します。
- ・必要な◎値または既知のケーブル長が表示されるまで、
 - ▲または▼を押します。
- ・設定マークが消えるまで、TOOLSボタンを繰り返し押します。

ケーブルの長さを測定するには：

- ・ケーブルをテスターに接続します。
 - ◎ディスプレイにケーブルの長さが表示されます。
- ・現在選択されているポートのポート選択ボタンを押します。
- 表示が変わり、ケーブル全体の調査またはケーブル内のココのペアの長さが表示されます。
- ・繰り返して、各ペアの長さまたは全長を順番に表示します。
- ◎個々のペアの長さを調査することにより、ケーブルの障害と障害までの距離を見つけることができます。
- ◎個々のペアは長さが異なることが多く、内部がねじれた構造のため、ケーブル全体よりも長くなる場合があります。



ケーブルの長さを測定する

・ケーブルをテスターに接続します。

○画面にケーブルの長さが表示されます。

現在選択されているポートのポート選択ボタンを押します。

○表示が変わり、ケーブル全体の長さまたはケーブル内個々のペアの長さが表示されます。

操作を繰り返して各ペアの長さまたは全長を順番に表示します。

ケーブル全体の長さ ———• 100 m

5 12345678

◎ 個々のペアの長さを調査することにより、ケーブルの障害と障害までの距離を見つけることができます。

ペア1-2の長さ ———• 101 m

5 12345678

◎ 個々のペアは長さが異なることが多く、内部がねじれた構造のためケーブル全体よりも長くなる場合があります。

ペア3-6の長さ ———• 102 m

5 12345678

● トーン発信

VDV II Plusは互換性のあるトーンプローブ(別売)と使用することによりケーブルの識別及び探索を行うことができます。VDV II Plusは様々なピン組み合わせで多様な種類のトーン信号音を発信することができます。トーン信号音とピン接続の選択は測定を通して最適になるため特定のプローブ種と特定のケーブル状況で最良の結果を出すことができます。

● トーン発信を有効にする

- TONEボタンを押します。

現在選択されている発信音タイプは現在選択されたポートと現在選択されたピンで発信されています。

トーンはスイッチがオフになるまでまたは最大144分間継続して生成されます。

● トーン送信されるポートを変更する

- 関連するポート選択ボタンを押します。

トーン信号は選択したポートに、最後にそのポートで使用されたトーン種類とピン設定で実行されます。

● トーン送信されるピンの変更

- 現在選択されているポートのポート選択ボタンを押します。ボタンを押してトーン送信されるピンを変更できます。

● トーンタイプの変更

- TONEボタンを押します。

トーンボタンを押すと音色が変わります。

トーン発信はケーブルの遠端から制御できケーブルが正しく追跡されたことを確認するのに役立ちます。

● 遠端からトーン生成を制御する

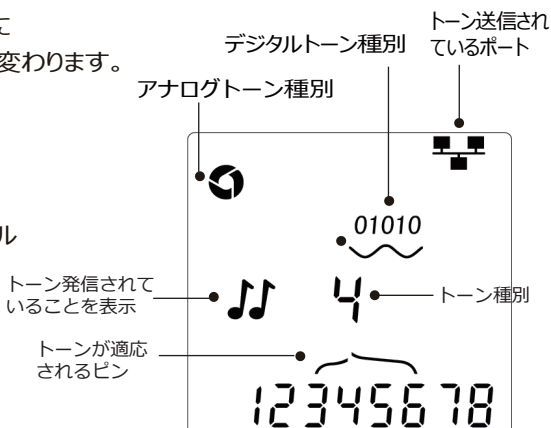
- ケーブルの任意の2本のワイヤーの間に短時間短絡を適用すると、音色が変わります。

● トーン発信をオフにする

- TONEボタンを長押しします。

トーン発信が停止し、通常のケーブルテストが再開されます。

- TONEボタンを離します。



HUB(ポート)点滅

イーサネット設置時に正しいケーブルが正しく接続されているか確認する際、VDV II Plusはケーブルの一方の端でイーサネット信号を発信し、もう一方の端に接続されている機器のポートLEDを点滅させることができます。

HUB(ポート)点滅はDATAポートが選択されている場合にのみ有効です。ハブ点滅を有効にする

- イーサネットデバイスインジケータが点滅するまで、TOOLSボタンを繰り返し押します。

▼または▲を押します。

✓ 記号はHUB点滅がオンになっていることを示します。イーサネットデバイスインジケータのポート部が点滅します。HUBの点滅は電源が切れるまで、または最大144分間続きます。

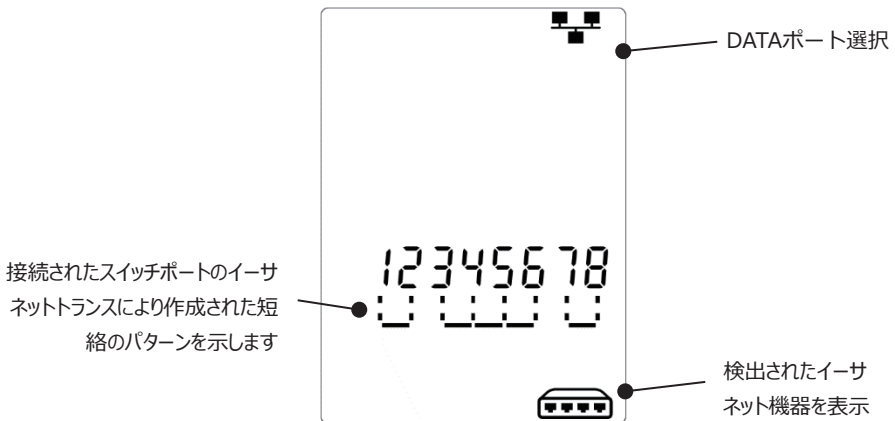
電圧検出

いずれかのピンで約2ボルトを超える電圧が検出されると、警告音が鳴り、警告表示が表示され、ケーブルのテストと長さの測定はできません。



イーサネット機器検出

DATAポートを選択すると、VDV II PLUSはDATAポートに接続されているイーサネット機器の存在を検出できます。



保証書

※ 御使用者 住 所	
品 名 VDV II Plus	品 番
保証期間 ご購入日 年 月より 1年	

お願い 本保証書は、アフターサービスの際必要となります。
お手数ですが、※印箇所にご記入の上本機の最終御使用者のお手許に保管
してください。

保証規定

- 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じた場合は、保証規定に基づき無償で修理いたします。
- 本保証書は、日本国内でのみ有効です。
- 保証書の再発行はいたしません。
- 消耗品は保証の対象外です。
- 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外致します。
 - 不適当な取扱い使用による故障
 - 設計仕様条件等を越えた取扱い、使用または保管による故障
 - 当社もしくは当社が委託した者以外の改造又は修理に起因する故障
 - その他当社の責任とみなされない故障

製造発売元

株式会社 **グッドマン**

〒236-0037 神奈川県横浜市金沢区六浦東2-3-3

☎ 0120-26-5527